

2025年10月16日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行

アジア・トランジション・ファイナンス・スタディ・グループの年次報告書の公表について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下当行）は当行が参加するアジア・トランジション・ファイナンス・スタディ・グループ（以下 ATF SG）が、本日、「ATF SG 年次報告書 2025」を公表したことをお知らせいたします。

1. ATF SG について

ATF SG は、アジア経済がネットゼロエミッションに向かう上での、トランジション・ファイナンス（以下 TF）が果たす重要な役割およびアジア経済が直面する課題を踏まえ、民間金融機関が主導し、2021 年に設立されました。ATF SG では、金融機関が TF の事例を検討および評価する際の国際基準や、タクソノミーを含む既存のフレームワークを補完する実用的な推奨事項を作成するとともに、TF の推進に係る課題を理解し、潜在的な解決策を探求することを目標としています。

当行は、2021 年度から 2023 年度において初代リード行として ATF SG の事務局を支援し、TF に関わる議論と活動をけん引してまいりました。2022 年に ATF ガイドラインを発表し、ATF SG 活動レポートにて 7 つの支援策を提言しました。その後、2023 年の年次報告書では、トランジション・ファイナンスに取り組むための 3 つの重要な要素を提示しました。これらの調査結果は、アジアグリーン成長パートナーシップ閣僚会合（AGGPM）を含む複数の国際会議で紹介・言及されています。ATF SG 年次報告書 2024 では、官民協力によりリスクを軽減、分散することで、トランジションプロジェクトが実現可能かつ投資価値のあるものになることについて取り上げました。

2. 「ATFSG 年次報告書 2025」について

「ATF SG 年次報告書 2025」は、商業銀行を中心とするメンバーによる数ヶ月の議論を経て作成されました。開発銀行、輸出信用機関、公的機関、金融関連の業界団体などに加え、エネルギー、産業、保険・保証分野の関係者やアドバイザーなどもゲストスピーカーとして参加し、それぞれの立場から意見を交わしました。

ATF SG 年次報告書 2025 では、特定のソリューションやシステムについて重点的に検討しています。これには、東南アジアにおいて大きな可能性を秘め、規制当局や業界関係者の間で注目を集めている持続可能な航空燃料（SAF）、バッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）、分散型ネットワーク、カーボンプライシング、そして自主的炭素市場が含まれています。また、金融機関がこの進化する状況に対応するための支援として、マレーシア、インドネシア、タイにおけるエネルギー・トランジション戦略に関する国別の知見を考察するとともに、イスラム金融が、イスラム教徒が多数を占める市場で果たす独自の役割についても強調しています。

今後、ATF SG は、蓄積した知見の実践的な適用に重点を移していきます。メンバー間での積極的な経験共有は、学びを強化するだけでなく、金融機関同士や規制当局、業界関係者を含む他のステークホルダーとの協力を促進する上でも重要となります。

ATF SG 年次報告書 2025 :

<https://www.atfsg.org/report/asia-transition-finance-study-group-atf-sg-annual-report-2025>

当行は、今後の ATF SG の活動を通じて幅広い関係者と連携しながら、金融機関の TF 推進に係る実務知見の探求に努めます。また、ATF SG の活動によって得られた知見やネットワークを活用し、アジアの現実的かつ段階的なエネルギー・トランジションの実現に向け、貢献してまいります。

[1] Asia Transaction Finance についてや、過去の報告書などは、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.atfsg.org/>

以 上